

## 平成28年度公益財団法人尼崎地域産業活性化機構事業報告

平成28年度は第4次中期計画(平成27年度から29年度)の2年目にあたり、中期計画の目標達成に向け、組織内外の連携を強化しながら事業を実施しました。また、安定した財務体制に取り組む中で、目標とする当年度収支差額は20,000千円に対し26,754千円となり、このうち26,000千円を建物引当金に引き当てました。なお、目標とする3年間の引当総額50,000千円に対しては、2年終了時で46,000千円となりました。

### I 事業まとめ

#### 1 調査研究事業について

4月14日に発生した熊本地震による市内事業所への影響を把握するための調査を、尼崎市、尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、(協)尼崎工業会と共同で実施しました。

また、尼崎市市制100周年を記念して、『次代を担うひと・まち・産業』をテーマとするAIR叢書第3号の発行や、平成27年度に実施した「産業のまち尼崎百景」コンテストの入賞・入選23作品を尼信会館で展示するとともに、(一財)尼信地域振興財団と共同で、平成21年度からの全入賞・入選133作品を収録した記録集を制作しました。

このほか、事業所景況調査、労働環境実態調査、経済活性化対策調査、製造業実態調査、商業実態調査などを実施しました。

#### 2 産業振興事業について

尼崎市市制100周年を機に、「あまがさき産業フェア」をスケールアップし、3会場で過去最大規模の出展者により開催するとともに産業製品展示会、子供向けのしごと体験教室、市内大学のオープンキャンパス等の複数のイベントを実施しました。また、尼崎市において100年以上続いたご長寿企業の取組について広く発信し紹介するため、尼崎信用金庫からの寄附金を活用し、尼崎市と連携して「尼崎100年企業集」等を作成しました。

そして、開設から1年半を迎えた尼崎創業支援オフィス「アビーズ」では、インキュベーションマネージャー等による創業支援、講演会やセミナー、連携事業等の充実を図るとともに、スペースの拡張など、起業・創業に向けた支援を進めました。

さらに、尼崎市等から事業を受託し、工業支援や商業支援など数多くの支援制度の窓口となっているほか、新たにサービス産業事業者を対象とした支援も行うなど産業振興事業の拠点としての役割を拡充させました。

#### 3 尼崎市中小企業センター管理運営事業について

センターの利用促進を図るため、安全・安心・快適で質の高いサービスの提供に努めました。一時貸室部門では、平成27年度に比べ利用件数が4.5%増加し5,711件、利用金額が0.8%増加し38,633千円となりました。また、その他の利用収入についても1%から10%増加しました。

#### 4 尼崎市中小企業勤労者福祉共済事業について

中小企業で働く従業員の福利向上を通じて企業経営を支援するため、福利サービス

の拡充や新規導入に努めました。平成27年度に比べ給付・利用補助・チケット購入等利用の件数については19%増加し20,543件となりましたが、会員数については8%減少し8,461人となりました。

## II 事業の詳細

### 1 評議員会

- ・ 定時 6月21日（火） 平成27年度決算について  
評議員及び役員の選任について
- ・ 臨時 8月31日（水） 評議員の選任について

### 2 理事会

- ・ 臨時 4月 1日（金） 理事会の議事運営に関する規程の一部改正について  
評議員会の招集権者の順序に関する規程の一部改正について  
事務処理規程の一部改正について  
常務理事の解任について  
専務理事の選任について  
専務理事の報酬について
- ・ 定例 5月31日（火） 平成27年度事業報告及び決算について  
平成28年度収支予算書の変更について  
平成28年度定時評議員会の開催について
- ・ 臨時 6月21日（火） 理事長の選任について
- ・ 臨時 7月29日（金） 臨時評議員会の決議の省略について  
臨時評議員会の決議事項について
- ・ 臨時 12月20日（火） 給与規程の一部改正について
- ・ 臨時 1月20日（金） 平成28年度事業計画の追加について  
平成28年度収支予算書の変更について
- ・ 臨時 3月17日（金） 臨時評議員会の決議の省略について  
臨時評議員会の決議事項について
- ・ 定例 3月28日（火） 職員の就業に関する規程の一部改正について  
給与規程の一部改正について  
平成29年度資産運用計画について  
平成29年度事業計画及び予算について

### 3 評議員及び役員懇談会

- 11月30日（水） 報告事項  
平成28年度事業中間報告及び収支状況について  
公益法人検査について  
尼崎市中小企業センター愛称の設定について

### 4 「ECO未来都市・尼崎」宣言関連事業

尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、（協）尼崎工業会、尼崎信用金庫及び尼崎市と共同で宣言した「ECO未来都市・尼崎」宣言に基づく事業に連携して取り組みました。

(1) 事務方会議 10回開催

(2) 尼崎市市制100周年記念シンポジウム

「産業×環境＝エコミュージアムシティへと進化する尼崎」

- ア 日時 11月24日(木)
- イ 場所 尼崎市中小企業センター1階ホール
- ウ 参加者 174名

## 5 調査研究事業

都市問題や産業問題の解決に向けた調査研究を充実し、産業の振興施策等に結びつける実践的な調査研究を行いました。

### (1) 産業情報データバンク事業

尼崎市内におけるものづくり企業の取引を活発化させることを目的として、事業所情報データベース『尼崎インダストリー』の管理・運営を行いました。

#### ア 掲載件数

- (ア) 事業所情報 977件
- (イ) 開放特許情報 20件
- (ウ) 試験研究機関情報 64件

イ アクセス件数 141,992件(平成27年度153,081件)

### (2) 事業所景況調査事業

市内事業所の動向等を把握し、時宜にかなった対応措置を講じるため、景気動向調査(年4回)を実施し、情報発信を行いました。

ア 調査 4~6月期、7~9月期、10~12月期、1~3月期

イ 結果 ホームページに掲載

### (3) 地域データ及び関連情報の収集・分析事業

尼崎市に関連する基礎的なデータを、関連機関との連携等により収集し、独自の分析を加えつつ、広く情報発信しました。

#### ア 労働環境実態調査事業

市内事業所における労働環境等の実態を把握し、労働環境の改善、雇用の促進等を図るための基礎資料としました。

(ア) 対象 市内の従業者30人以上の事業所

1,073件(平成26年「経済センサス」から抽出)

(イ) 方法 アンケート調査

(ウ) 内容 労働条件、賃金制度、人材の確保・育成、女性従業員の活用、改正高年齢者雇用安定法への対応、外国人及び障がい者の雇用など

(エ) 結果 尼崎市ホームページに掲載

#### イ 経済活性化対策事業

尼崎市経済の活性化に寄与する施策を構築するため、「大阪湾ベイエリア製造事業所の技術に関する実態調査」をテーマとして調査を実施しました。

(ア) アンケート調査

a 対象 大阪湾ベイエリアに立地する従業者10人以上の製造事業所

1,955件(平成26年「経済センサス」から抽出)

b 内容 事業所の強み、研究開発への取組状況と課題、コア技術の水準と向上のきっかけ、取引先の空間的範囲、立地評価など

(イ) ヒアリング調査

a 対象 上記アンケート調査に回答した3事業所

b 内容 研究開発等の具体的な取組内容

ウ 尼崎の産業振興に関する基礎研究

尼崎の産業振興に関連する研究会、事業への参画を通じて、他機関との連携を深め、情報収集に努めました。

- (7) 「尼崎市産業振興推進会議」（尼崎市主催）への参画  
・ 推進会議 2回
- (1) 「尼崎経済白書（平成28年度版）」編集協力
- (ウ) 「大阪湾ベイエリア地域経済分析研究会」の開催
  - a テーマ 大阪湾ベイエリアにおける製造業の研究開発機能に関する調査研究
  - b 参加者 尼崎市、西宮市、芦屋市、伊丹市、兵庫県、兵庫県阪神南県民センター、兵庫県阪神北県民局、大阪府、和歌山県、（一財）近畿高エネルギー加工技術研究所、学識経験者
  - c 研究会 4回開催

エ 国勢調査及び経済センサスからみた尼崎の小地域の特性Ⅴ・Ⅵ

既往統計を用いて尼崎市の小地域の分析を行い、情報の継続的な蓄積を行うとともに、地理情報システムを活用して小地域データを地図化して発信しました。

- (7) 内容 国勢調査 平成22年と平成27年のデータ比較  
経済センサス 平成24年と平成26年のデータ比較
- (1) 結果 国勢調査 ホームページに掲載  
経済センサス AIR叢書第3号に掲載

オ 尼崎市における商業の変化と状況についての研究

市内の小売市場・商店街における組織運営の状況を把握して団体名簿を作成しました。

- (7) 対象 市内の小売市場・商店街 74団体
- (1) 方法 アンケート調査、現地踏査

カ 「年次報告書等作成事業」

- (7) AIR叢書第3号の発行
  - a タイトル 『次代を担うひと・まち・産業』
  - b 内容 機構の調査研究報告、及び市制100周年に関連する尼崎市の取組等で構成
  - c 判・頁 A5判、244頁
  - d 発行 8月15日（月）
  - e 定価 2,000円（消費税別）
- (1) （仮称）「居場所」研究会の開催
  - a 内容 都市がより魅力的になるための居場所のあり方を研究。研究成果をAIR叢書第4号に取りまとめる予定。
  - b 参加者 有識者（執筆予定者）5名
  - c 回数 2回開催

(4) 製造業実態調査

ア 尼崎市製造事業所の操業環境に関する実態調査

市内内陸部に立地する工場の操業環境の実態を把握して、今後のまちづくりや産業振興施策立案のための基礎資料としました。

- (7) 対象 市内内陸部に立地する従業者4人以上の製造事業所 975件
- (1) 方法 アンケート調査

- (ウ) 内容 周辺の住宅地化・商業地化等による影響など
- イ 『ものづくり企業のための支援制度等活用ガイド（第8版）』の作成  
尼崎市、兵庫県、国と関係団体等の42機関がものづくり企業に提供している282制度をまとめ、ホームページに掲載し、ものづくり企業へ配布しました。

(5) 商業実態調査

ア 商業集積地の店舗分布状況等の実態調査

市内商業地域の店舗・業種の分布、空き店舗等の調査を行い、商業集積地ごとに情報の整理、とりまとめを行いました。

(ア) 対象 阪神沿線（尼崎駅周辺、杭瀬駅周辺）の商業集積地

(イ) 結果 ホームページに掲載

イ 『商業団体・事業者のための支援制度等ガイド（第3版）』の作成

尼崎市、兵庫県、国と関係団体等が商業団体や商業者に提供している80制度をまとめ、ホームページに掲載しました。

(6) 経済変動簡易調査

ア テーマ 熊本地震による市内事業所への影響調査

イ 主体 尼崎市、尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、(協)尼崎工業会との共同調査

ウ 対象 市内事業所 1,000件

エ 方法 アンケート調査

オ 結果 尼崎市ホームページで公表

6 情報の収集・提供事業

地域の発展や産業振興を図るため、積極的に情報の収集を行い、提供しました。

(1) シリーズ「地域と産業」講演会の開催事業

ア テーマ 「起業」から関西の経済再生を考える

イ 共催 (一社)日本計画行政学会 関西支部

ウ 開催日 7月2日(土)

エ 参加人数 123人

(2) 「産業のまち尼崎」写真コンテスト開催事業(尼崎市市制100周年記念事業)

ア 「産業のまち尼崎百景」写真展

(ア) 内容 「産業のまち尼崎百景」写真コンテストの入賞・入選23作品  
(募集は平成26~27年度、審査は平成27年度に実施)

(イ) 会場 尼信会館

(ウ) 期間 7月30日(土)~8月28日(日)

イ 「産業のまち尼崎」記録集作成

(ア) 内容 「産業のまち尼崎」写真コンテスト(全5回)及び「産業のまち尼崎百景」写真コンテストの全入賞・入選156作品を収録

(イ) 判・頁 A4判、32頁

(ウ) 作成部数 3,000部

(エ) 共同制作 (一財)尼信地域振興財団

(3) 尼崎市産業団体連携事業

産業団体等と連携するなかで、各団体の支援事業の調査、実施事業の調査及び協議、決定等を行うことを目的に連絡協議会を開催しました。

- ・開催回数 3回

(4) 情報発信事業

事業の内容を紹介するパンフレットを作成し、広くPRしました。また、情報発信機能の強化を図るため、ホームページ等を活用して、事業者役に役立つ情報、創業関連等の情報を発信しました。

ア 事業紹介冊子の発行

今年度の事業内容を紹介する冊子を作成し、企業などに広くPRしました。

イ 創業関連情報の発信

月刊「RIETI KANSAI」(一財)経済産業調査会近畿本部発行)に紹介記事を掲載しました。

- ・掲載月及び掲載企業数 7月号：尼崎創業支援オフィス「アビーズ」

ウ ホームページ

新規情報を随時更新しています。

- ・アクセス件数 25,477件(平成27年度 22,514件)

エ メールマガジンの発行

新規情報や活動内容等をメールマガジンで発信しました。

- ・発行回数 12回(月1回) ・登録件数 1,160件

オ フェイスブック

活動内容や市内事業所の情報をフェイスブックで発信しました。

7 中小企業支援事業

中小企業の活性化および経営の安定化を図るため、関係機関と連携しながら、融資・特許・情報化・海外取引等に関する相談業務を充実するとともに、大学等との連携による技術力の向上や経営革新・販路拡大などを支援しました。

(1) 経営相談事業

企業が抱える様々な経営課題や取組に対する相談窓口を設けて、専門家や専門機関と連携しながら課題解決を支援しました。

ア 特許相談

(ア) 開催回数 定期相談会7回(各月第4火曜日：予約制)

(イ) 相談件数 8件

イ その他の相談件数 20件(創業・商業相談を除く)

(2) 産学連携推進事業

ア 尼崎市産学公ネットワーク協議会

市内中小企業の技術力や製品開発力を向上させ、経営基盤の安定化を図るため、大学等と連携した事業を促進しました。

(ア) 構成団体

産業技術短期大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、尼崎市、尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、(協)尼崎工業会、(一財)近畿高エネルギー加工技術研究所、(公財)尼崎地域産業活性化機構

(イ) 協議会の開催

a 開催日 5月26日(木)

b 参加人数 15人

(ウ) 広報事業(あまがさき産業フェア2016への出展)

a 開催日 8月4日(木)、5日(金)

- b 展示物 研究内容のポスター展示等
- (イ) 研究事例・シーズ発表会（あまがさき産業フェア同時開催）
  - a 開催日 8月4日（木）
  - b 発表大学 兵庫県立大学・産業技術短期大学・神戸大学・大阪大学
  - c 参加人数 延べ131人
- (ロ) ビジネスマッチング会（あまがさき産業フェア同時開催）
  - a 開催日 8月4日（木）・5日（金）
  - b マッチング企業27社（工業8社、商業19社）
  - c 提案件数 56社219件（内、面談183件）
- (ハ) 大学研究室訪問（産業技術短期大学）
  - a 開催日 3月7日（火）
  - b 見学先 産業技術短期大学
  - c 参加人数 15人
- (ニ) 大学研究室訪問（兵庫県立大学）
  - a 開催日 3月16日（木）
  - b 見学先 「京」、FOCUS、兵庫県立大学
  - c 参加人数 15人
- イ 産学公人材イノベーション推進協議会
 

産業界・行政機関・研究者等が連携を図り、地域社会の発展と人材育成に寄与するため、経済団体として協議会に参加し、セミナーや研究内容説明会実施のための協議を行いました。

  - (7) 連携機関 28団体
  - (1) 協議会開催日 7月11日（月）
- (3) 尼崎優良技術企業発信事業
  - ア 「尼崎市ものづくり達人」輩出企業のブランド化推進
 

ものづくりの分野で優れた技術・技能を有し、伝承する事業所の情報を発信するとともに、「尼崎優良技術企業」のプレートを贈呈し、顕彰しました。

    - ・事業所数 2社（㈱タクミ製作所、㈱クボタ 阪神工場）
  - イ 優良企業等の発掘発信
 

市内の特徴ある製品・商品・サービスを保有する企業・商店等を発掘し、関係機関等に情報提供しました。

    - ・発掘企業数 1社（バックハウス・イリエ 園田本店）
    - ※平成28年度兵庫県技能顕功賞に推薦し受賞
- (4) 100年企業顕彰事業
 

市内企業において、100年以上にわたって伝統の技術や事業を守り受け継いできた「ご長寿企業」に対し、経営理念や事業継続の秘訣をはじめとした様々な取組について、広く発信し紹介することにより、市内企業の活力向上を目的として、尼崎市と連携してネームプレートや「尼崎100年企業集」を配布しました。

  - ・顕彰企業数 32社・団体
- (5) 尼崎産業フェアの開催
 

産業支援機関や尼崎市と共同で、企業が保有する技術・製品を市内外に紹介

する「あまがさき産業フェア2016」を開催しました。

ア キャッチフレーズ モノ作りを変える、オドロキの技に出会う！

イ 開催日時 8月4日(木) 10:00~17:00

5日(金) 10:00~16:00

ウ 開催場所

(ア) 第1会場(産業製品展示会場) ベイコム総合体育館(尼崎市記念公園)

(イ) 第2会場(モノづくり体験) 尼崎市中小企業センター

(ウ) 第3会場(オープンキャンパス他) あましんアルカイックホール・オクト

エ 来場者数

(ア) 第1会場(産業製品展示会場)

2,621人(4日:1,391人、5日:1,230人)

(イ) 第2会場(モノづくり体験)

591人(4日:312人、5日:279人)

(ウ) 第3会場(オープンキャンパス他)

357人(4日:178人、5日:179人)

オ 事業内容及び実績

(ア) 市内企業等の産業製品・技術展示

・出展者及び小間数 165社・団体(192小間)

(イ) 市内工業系高等学校・専門学校生徒の作品展示

・出展校 5校

(ウ) ドローンデモンストレーション

a 開催日 8月4日(木)

b 参加人数 約500人

(エ) 全日本製造業コマ大戦 第2回あまがさき産業フェア特別場所

a 開催日 8月5日(金)

b エントリー企業 17社・団体 26チーム

c 参加人数 約400人

d 優勝 アタイス工業(株)(準優勝 藤原金属工業(株))

(オ) ビジネスマッチング会

7(2)ア(オ)に内容掲載

※尼崎市産学公ネットワーク協議会、兵庫県信用金庫協会、

尼崎信用金庫、信金中央金庫と共催

(カ) 知財ビジネスマッチング会

a 開催日 8月4日(木)

b 面談企業 4社

※(株)富士通と共催

(キ) 販路開拓コーディネート事業

a 開催日 8月4日(木)

b 面談企業 3社

※中小機構 近畿と共催

(ク) 出展企業プレゼンテーション

a 開催日 8月4日(木)、5日(金)

b 発表企業 31社・団体

- c 参加人数 約300人
- (7) 知的財産等相談会
  - a 開催日 8月4日(木)、5日(金)
  - b 相談件数 7件
- (8) 施設見学会
  - a 開催日 8月4日(木)
  - b 見学先 尼崎ロボットテクニカルセンター、ものづくり支援センター
  - c 参加人数 10人
- (9) がんばろう熊本！応援プロジェクト(観光PR及び物産品販売、募金活動)
  - a 開催日 8月4日(木)、5日(金)
  - b 寄付額 72,242円(販売額58,374円、募金額13,868円)
- (10) 同時開催事業
  - a 研究事例・シーズ発表会
    - 7(2)ア(イ)に内容掲載
    - ※尼崎市産学公ネットワーク協議会主催
  - b 取引適正化推進セミナー
    - (a) テーマ 下請代金支払遅延等防止法の概要と指導事例
    - (b) 開催日 8月4日(木)
    - (c) 講師 公正取引委員会事務総局 近畿中国四国事務所 下請課  
下請取引調査官 津田 博司 氏
    - (d) 参加人数 48社・83人  
※(公財)ひょうご産業活性化センター主催
- (11) プレイベント 宇宙航空研究開発機構JAXA発表会
  - a テーマ 宇宙航空産業の裾野拡大と新事業創出のための取り組み  
ー新たな価値の創出を目指してー
  - b 開催日 7月28日(木)
  - c 講師 宇宙航空研究開発機構新事業促進部 新事業課長 二俣 亮介 氏
  - d 参加人数 32人

(6) 創業者支援事業

市内での創業の促進と創業機運の醸成に努めることを目的に、創業準備中の方、創業まもない方、創業意欲のある方に、起業・創業に適した環境を整備し提供するとともに、事業の早期安定化を図る支援等を行いました。

ア 尼崎創業支援オフィス「アビーズ」の運営

(7) 利用者 延べ23人・団体(内、7人卒業)

イ 支援事業

(7) 相談件数 644件

(1) 講演会

a 開催日 7月25日(月)

b 開催場所 尼崎市中小企業センター ホール

c テーマ及び講師

夢持ち続け 日々精進 (株)A and Live 代表取締役 高田 明 氏

- d 参加人数 165人
- (ウ) Amagasaki Jelly Café (創業オーナーを招き、創業前後の経験や事業継続のポイント等について講演)
  - a 開催日 9月22日(木・祝)、10月24日(月)、11月22日(火)、1月20日(金)、1月28日(土)、2月24日(金)、3月13日(月)、3月22日(水) (全8回)
  - b 開催場所 尼崎市中小企業センター 創業支援オフィス「アビーズ」等
  - c 参加人数 延べ152人
- (イ) Amagasaki Jelly Café PLUS (利用者のビジネススキルの向上やビジネスプランの改善等を目的とする発表会・意見交換会)
  - a 開催日 10月1日(土)、11月19日(土) (全2回)
  - b 開催場所 尼崎市中小企業センター 創業支援オフィス「アビーズ」等
  - c 参加人数 延べ180人
- (オ) 連携事業
  - a あまがさきビジネスプランコンテスト2016
    - (a) エントリー受付期間 8月1日(月)～9月30日(金)
    - (b) エントリー件数 29社・人
    - (c) 書類選考 10月24日(月)
    - (d) 最終審査発表会&基調講演 2月21日(火)  
参加人数50人
    - (e) コンテスト参加者には必要に応じ創業支援を行うとともに、グランプリ・準グランプリ受賞者には、アビーズフリースペースの利用を提供
  - b みんなの尼崎大学オープンキャンパス
    - (a) 開催日 8月18日(木)
    - (b) 開催場所 尼崎市中小企業センター 創業支援オフィス「アビーズ」
    - (c) テーマ つなげる地元ビジネス～地域の新しいビジネスを考えてみよう～
    - (d) 参加人数 40人
- ウ 若者向け創業セミナー開催事業
  - (7) 初心者向け創業セミナー
    - a 開催日 2月4日(土)
    - b 開催場所 西宮市大学交流センター大講義室
    - c テーマ 若者が創業するために必要なこと
    - d 参加人数 31人
  - (イ) 創業希望者等向け創業講座
    - a 開催日 2月12日(日)、19日(日)、26日(日)、3月5日(日)、12日(日) 全5回
    - b 開催場所 アビーズ及び西宮市大学交流センター講義室
    - c 参加人数 25人
- (7) 海外展開支援事業
 

海外進出企業や行政、産業団体等で構成する尼崎国際ビジネス交流会に参画し、海外展開を検討している市内中小企業や進出後に経営課題を抱えている企業を

サポートするための情報交換を行いました。

・開催回数 4回

(8) 尼崎産業製品展示コーナーの運営

ア 展示企業数 23社

イ 展示場所 1階ロビー

(9) 取引拡大・マッチング事業

7(2)ア(オ)に内容掲載

※尼崎市産学公ネットワーク協議会、兵庫県信用金庫協会、尼崎信用金庫、  
信金中央金庫と共催

(10) 尼崎倶楽部の運営

尼崎産業界の活性化や人的交流を図るため、市内中小企業を中心とする会員組織である「尼崎倶楽部」の運営を行いました。

ア 総会・理事会・常任理事会

(ア) 総会 1回

(イ) 理事会 1回

(ウ) 常任理事会 13回

イ 朝食会

(ア) 開催回数 11回

(イ) 参加人数 延べ492人

ウ ビアパーティ

(ア) 開催日 7月22日(金)

(イ) 開催場所 ビアガーデン「THE MIYAKO」

(ウ) 参加人数 241人

エ 情報交流事業

(ア) 総会后交流会

a 開催日 5月30日(月)

b 参加人数 26人

(イ) お茶会及び特別講演会

a 開催日 11月12日(土)

b 参加人数 98人

(ウ) 懇親利き酒会

a 開催日 2月17日(金)

b 参加人数 111人

(イ) 尼崎市総合文化センター及びピッコロシアターの講演参加補助

a 参加人数 1人

オ 懇話室の運営

(ア) 開室時間 9:00~18:00

(イ) 利用者数 1,679人

カ 会員合計 193人

(ア) 法人会員 24人

(イ) 個人会員 84人

(ウ) 特別会員 85人

## 8 人材育成事業

企業の経営改善及び競争力の強化を図る人材を育成するため、時宜に応じた講座等を開催しました。

### (1) 第11期尼崎経営塾

次代の尼崎産業を担う若手経営者や後継者を対象に、経営環境の変化に対応でき、経営品質を高める人材を育成するため、幅広い分野のカリキュラムで尼崎経営塾を開催しました。

ア 開催日 5月21日(土)、6月18日(土)、7月16日(土)、8月20日(土)、9月3日(土)、17日(土)、10月1日(土)、15日(土)、11月5日(土)、20日(日)、12月4日(日)、18日(日) (全12回)

イ 参加人数 7人

ウ プロデュース 佐竹 隆幸氏(関西学院大学大学院 経営戦略研究科 教授)

### (2) 現場改善力向上セミナー

運輸業を対象に、「効率の向上」や「付加価値の向上」を現場で実践(=現場改善)していただくことを目指して、セミナー及び現場訪問アドバイスを実施しました。

ア 開催日

座学 8月31日(水)、9月7日(水) (全2回)

現場訪問アドバイス 10月24日(月)、25日(火)、31日(月)

イ 参加人数 6人(4社)

ウ テーマ “運輸業”を対象とした生産性向上の実践

エ 講師 山下 勝正氏(中小企業診断士)

オ 現場訪問アドバイス 2社2回訪問

カ フォローアップ 1社1回

### (3) パソコン教室

企業実務に対応した人材を育成するため、時代のニーズに応じた多彩な講座を開催しました。

ア 講座数 666講座

イ 受講者数 787人

## 9 商業活性化事業

相次ぐ大規模商業施設の立地、消費行動の多様化等、商業環境の大きな変化に対応する小売市場・商店街及び小売商店等の経営改善を支援しました。

### (1) 専門家派遣事業

活性化に向けて積極的に活動しようとする市内商業団体等に対し、専門家を派遣し、相談、アドバイス等を行いました。

・派遣団体及び回数 9団体70回

### (2) 市内商業団体等からの相談・支援

・相談支援件数 100件

### (3) 大学生による地域連携推進支援事業

大学生が商店街と連携して行う活性化活動等を支援しました。

ア 大学 神戸山手大学

- イ 商店街 サンモール武庫元町商店街振興組合
- ウ 活動日 10月11日(火)、25日(火)
- ※成果報告会 12月3日(土) 阪神つながり交流祭にて実施

10 尼崎市業務受託事業

- (1) 中小企業新技術・新製品創出支援事業
  - ア 懇話会 7月27日(金)
  - イ 申請 5件
  - ウ 採択 5件
- (2) 生産性向上支援事業
  - ア 1件(現場改善アドバイス実施)
- (3) あまがさきエコプロダクツ認証事業 3件
- (4) 省エネ設備導入促進事業
  - ア 1次募集 申請17件、採択17件
  - イ 2次募集 申請 8件、採択 7件
- (5) 産業情報データバンク事業
  - 5(1)に内容掲載
- (6) 展示会等出展支援事業 9件
- (7) 産業功労者等表彰事業
  - ア 産業功労者表彰
    - (7) 表彰式 10月6日(木)
    - (1) 受賞者 6人
  - イ 永年勤続勤労者表彰
    - (7) 表彰式 11月8日(火)
    - (1) 受賞者 38人
  - ウ 優良勤労者表彰
    - (7) 表彰式 11月8日(火)
    - (1) 受賞者 79人
  - エ ものづくり達人顕彰
    - (7) 懇話会 10月14日(金)
    - (1) 表彰式 11月8日(火)
    - (1) 受賞者 2人(旋盤工、鋳込工)
- (8) サポートファイナンス事業
  - ア ものづくり事業化アシストファイナンス事業
    - (7) 受付 2件
    - (1) 助成 2件
  - イ エコサポートファイナンス事業
    - (7) 受付 0件
    - (1) 助成 2件
  - ウ ソーシャルビジネスサポートファイナンス事業
    - (7) 受付 11件
    - (1) 助成 8件
- (9) 中小企業資金融資関係事業 559件
  - ア 金融相談 458件
    - 内訳 窓口相談件数202件・電話相談件数256件

- イ 受付状況 101件
  - 内訳 認定書受付件数86件・市制度受付件数15件
  - (10) 商業活動相談指導業務（商業活性化分） 143件
  - (11) 空店舗活用支援事業 10件
  - (12) 商業施設再生整備事業（公益機能創出） 0件
  - (13) 魅力向上支援事業 12件
  - (14) 市場・商店街等省エネルギー・省資源化促進事業 2件
  - (15) 商業活動相談指導業務（安全・安心分） 27件
  - (16) 防火・防犯対策支援事業 0件
  - (17) 市場・商店街等ワークショップ事業 4件
  - (18) 共同施設撤去支援事業 2件
  - (19) 事業所訪問事業
    - ア 対象 サービス産業事業者216社（平成26年「経済センサス」から抽出）
    - イ 方法 訪問による面談
    - ウ 訪問対象事業所 157社
    - エ 訪問事業所 100社
  - (20) 事業所景況調査事業
    - 5(2)に内容掲載
  - (21) 経済活性化対策事業
    - 5(3)イに内容掲載
  - (22) 労働環境実態調査事業
    - 5(3)アに内容掲載

## 1.1 尼崎市中小企業センターの管理運営

- (1) 会館利用状況（括弧内は平成27年度）
  - ア 利用件数
    - (ア) 会館 5,711件（5,466件）
    - (イ) 駐車場 19,985台（18,956台）
  - イ 会館利用率
    - (ア) 全体 35.5%（33.9%）
    - (イ) ホール 54.5%（54.4%）
- (2) 電子看板広告
  - 企業・団体数 3社
- (3) 中小企業センターの施設・設備の改善等
 

施設の利用を通じて満足していただくため、利用者ニーズに対応し、柔軟に施設を運営しました。また、運営スタッフのサービス力の向上を図り、サービス品質の向上を行いました。

  - ア 建物設備関係
    - (ア) 創業支援オフィスアビーズの固定ブース増設
    - (イ) 雑排水管盛替工事（地下汚水槽等の廃止）
    - (ウ) 外窓排煙オペレータ修理
    - (エ) 503号室非常用回転扉修理
    - (オ) ホール入口扉錠前取替
    - (カ) レストラン外側扉修理
    - (キ) 地下通用口扉交換修理

(ク) テナント用積算電力量計更新

イ 備品関係

- (ア) 会館予約システム更新
- (イ) ブラインド交換
- (ウ) プロジェクター購入
- (エ) 会議用テーブル更新

(4) テナント会の運営

- ア 運営等会議 5月30日(月)
- イ 防災訓練の実施 第1回6月29日(水) 第2回12月21日(水)
- ウ 防災備蓄品の購入(非常用トイレ、非常食)
- エ 交流会開催 平成29年2月24日(金)(足形測定・健康講座)

1.2 尼崎市中小企業勤労者福祉共済事業(ハートプル)

(1) 福利事業

事業の魅力向上と会員や加入事業所の満足度の向上のため、新たなサービスを企画するとともに多様なサービスを提供しました。

ア 健康づくり支援事業

会員に対して事業所健診や人間ドックの利用あっせん・費用の一部補助を行うとともに、会員及びその家族に対してスポーツ施設の利用支援や家庭常備薬の斡旋など健康づくりに資する事業を実施しました。

事業内容	受診者数(事業所数)	備考
事業所健診	950人(108社)	会員のみ・2月28日(火)まで
人間ドック	128人(32社)	会員のみ
スポーツ施設利用支援	2,923人	会員家族:ウッディ、グンゼスポーツ、ハーティ21、サンシビック屋内プールのスポーツジム等利用
家庭用常備薬の斡旋	916人(243社)	6月27日~7月20日 10月27日~11月25日
予防接種費用補助	1801人	インフルエンザ・麻疹

イ 余暇活動支援事業

会員とその家族に対して、提携している観劇、遊園地、映画鑑賞、温泉施設、プロ野球観戦の利用補助や斡旋を行っています。また、旅行や指定宿泊施設の利用補助を行い、余暇活動の充実を図りました。

(ア) わくわくレクリエーションの開催

幅広い年齢層やニーズに対応するため、次の種類の企画で実施しました。

a レジャー施設の入場券等の特別販売

事業内容	販売枚数	利用期間
ユニバーサルスタジオ ジャパン入場券特別販売	1,072人 (大人872人) (子ども200人)	8月1日(月)~平成29年7月31日(月)
キッザニア甲子園利用補助	379人	9月1日(木)~11月30日(水)
神戸アンパンマンこども ミュージアム利用補助	615人	7月1日(金)~平成29年3月31日(金)

海遊館入場券特別販売	121人 〔大人 104人〕 〔子ども 17人〕	8月1日(月)～平成29年3月31日(金)
神戸市立須磨水族園 入場券特別販売	177人 (大人のみ)	8月1日(月)～平成29年3月31日(金)
バイキング利用補助	633人	平成29年2月10日(月)～3月31日(金)
温泉施設利用補助	450人	平成29年1月6日(金)～平成30年1月末

#### b 体験型イベントの開催

事業内容	参加人数	備考
かまぼことおにぎりづくり体験	62人	開催日：7月31日(日)・8月20日(土) 開催場所：マリンピア神戸さかなの学校
選べる体験 (塩・アイスクリーム・バター・ウールクラフト)	117人	開催日：7月1日(金)～8月31日(水) 開催場所：六甲山牧場・ マリンピア神戸さかなの学校
いもほり体験とバーベキュー	147人	開催日：10月9日(日) 開催場所：神戸ワイナリー(農業公園)
関西サイクルスポーツセンター 入場券と秋の味覚狩りのセット券	245人	利用期間：11月27日(日)まで 開催場所：関西サイクルスポーツセンター・フルーツランド天野山
吉本新喜劇特別公演 「女子アナ新喜劇ー女だらけの 吉本新喜劇第3弾ー」 観劇補助	106人	公演日：10月5日(水)・7日(金) 公演会場：なんばグランド花月

#### (イ) 旅行及び指定宿泊施設の利用補助

事業内容	利用者数
旅行補助	143人(会員利用60人・家族利用83人)
還暦旅行利用補助	14人(会員のみ)
指定宿舎利用補助	131人(会員利用71人・家族利用60人)
湯快リゾート宿泊券補助	291人(会員利用150人・家族利用141人)

#### (ウ) 観劇・遊園地等の利用補助または優待券の配付

事業内容	利用者数
観劇・鑑賞(新歌舞伎座等)	1,314人
吉本興業直営劇場予約引換券	249人
遊園地入場券等(TDL・姫路セントラルパーク等)	4,056人
映画鑑賞券(塚口サンサン劇場等)	2,743人
温泉施設(湯の華廊)	507人
ビアガーデン優待券(都ホテルニューアルカイク・神戸ポートピアホテル)	323人

こども商品券（トイカード）販売	200人
展示会等イベント	141人

(エ) 野球観戦補助

事業内容	利用者数
阪神甲子園球場入場券（アイビーシート）	496人
阪神甲子園球場入場券（アルプス席）	202人
京セラドーム入場券	34人
ほっともっとフィールド神戸・京セラドーム共通入場券	42人

(オ) バスツアー利用補助

事業内容	利用者数	備考
近畿地区共済サービスセンター合同 （幸せ♥探し）バスツアー	2人 （会員1人・家族1人）	実施日：10月2日（日） 場 所：多賀大社・近江八幡
天橋立観光とズワイガニとステーキ食 べ放題とふぐ鍋の昼食バスツアー	17人 （会員10人・家族7人）	実施日：2月5日（日） 場 所：天橋立・遊覧船
旬の味覚かにをゆったり食する 1日カニバスツアー	16人 （会員11人・家族5人）	実施日：2月12日（日） 場 所：日和山金波楼ほか

(カ) 文化・地域交流補助

事業内容	利用者数	実施日
塚口バル&マルシェ利用補助	51人	実施日：4月23日（土） 場 所：阪急塚口駅周辺
園田バル利用補助	13人	実施日：5月14日（土） 場 所：阪急園田駅周辺

(キ) クラブサークル活動補助  
・硬式テニス部

ウ 提携施設等からのプレゼントの提供

事業内容	当選者数
歯ブラシセットなど商品	35人
阪神タイガースオープン戦などの招待券	35人
オリックスバファローズ公式戦チケット	1人

(2) 給付事業

結婚祝金等6種類の給付を実施しました。

事業内容	件数
結婚祝金	111件
出産祝金	169件

死亡弔慰金	105件
傷病見舞金	51件
永年勤続慰労金	374件
災害見舞金	0件
計	810件

(3) 機関紙の発行

共済事業の案内を記載した機関紙「共済ニュースハートプル」を発行し、PRに努めました。

- ・共済ニュース「ハートプル」の発行 毎月1回
- ・主な掲載内容 最新の事業内容や各種イベント・旅行など催しの案内

(4) 会員の拡大、加入促進

共済事業の安定的な運営を図るため、会員の拡大に努めました。

- ア 共済ニュースによるPR
- イ 中小企業センター電子看板によるPR
- ウ 関係団体による催し・会議などにおけるPR
- エ 阪神バス尼崎市内線車内広告掲載（10台分）
- オ 加入促進用PRチラシ作成・配布
- カ 市内事業所1,600事業所へチラシ送付（調査配付分に同封）
- キ 事業所訪問によるPR
  - ・訪問数 122事業所

(5) 加入状況

- ア 事業所数 808社（平成27年度 848社）
- イ 会員数 8,461人（平成27年度 9,206人）

1.3 CSR（社会貢献）活動

尼崎21世紀の森への植樹活動や、尼崎中小企業センター周辺及び庄下川の清掃活動等に積極的に参加し、地域に密着した社会貢献活動を行いました。

以上

## 事業報告の付属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書は、事業報告の内容を補足する重要な事項が存在しないので作成しない。